

ベストマッチ® 園芸用343

33-4-3-Mg1.5

ベストマッチ® 園芸用343 は、化成肥料と苦土、2種類の被覆肥料を組み合わせ、元肥として一回施用するだけで、栽培終了まで肥効が持続します。また、窒素・りん酸・加里の他に苦土成分も配合し、作物全般の生育コントロールに好適な設計となっています。

《ハイチツタイプ肥料のご提案》

畑は生きもの、生かすために肥料や堆肥、土壌改良材は必需品。その中で目に見えない肥料成分は、コントロールしにくいものです。一般的な畑は、りん酸・加里の供給過多気味と言われているため、生育コントロールの基本となる窒素中心の設計で少量施肥をサポートします。

N	窒素(化成)	0.4 kg
	窒素(被覆)	6.2 kg
P	りん酸(化成)	0.8 kg
K	加里(化成)	0.6 kg
Mg	苦土(化成)	0.3 kg

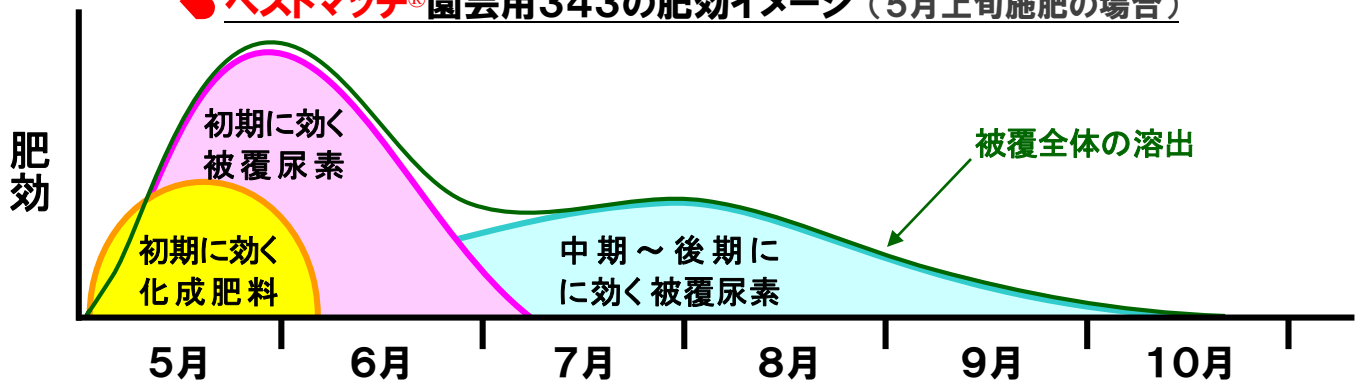
(1袋 20kg あたり)

特長 作物の生育に合わせて、長く、じっくりと効きます。

化成肥料、苦土肥料、被覆尿素肥料を配合し、園芸作物全般に使用できるように設計した肥料です。窒素、りん酸、加里の他に、苦土成分も配合しています。

窒素成分が33%の超ハイチツタイプで、安定した生育をコントロール。元肥として施用するだけで、収穫期まで、安定した肥効が持続します。

ベストマッチ®園芸用343の肥効イメージ (5月上旬施肥の場合)



施用量・施用方法

作物	標準施用量(kg/10a)		施用方法
	現物	窒素量	
切り花類	60～80	19.8～26.4	施用量は左記を参考に、慣行の総窒素量と合わせ、作型・品種特性・地力により増減してください。 元肥として全量を全層混和で施用してください。堆肥・石灰・りん酸資材などの土壌改良資材は慣行通り施用してください。
キャベツ・ハクサイ	80～100	26.4～33.0	
ブロッコリー・レタス	60～80	19.8～26.4	
スイートコーン	80～100	26.4～33.0	
カボチャ	40～50	13.2～16.5	
ズッキーニ	50～60	16.5～19.8	
飼料用トウモロコシ	20～40	6.6～13.2	